資料１

第２期日置市まち・ひと・しごと創生
総合戦略事業検証シート

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	①創業支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市で「しごと」にチャレンジしたい個人等への支援を目的とした「創業セミナー」や「創業塾」（市商工会主催）を開催し、創業塾の所定の条件を満たした受講者は、特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明を受けることができ、各種支援制度が活用できます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
創業支援事業補助金（創業塾等の開催）	予算額	1,500,000 最終予算額	1,300,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	1,500,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）		17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				
重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
創業セミナー及び創業塾の開催数	２回	KPI	2回	2回	2回	2回	2回
		実績	2回	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
創業塾の参加者数	20人/年	KPI	20人	20人	20人	20人	20人
		実績	24人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
受講者のうち創業又は事業拡大につながった数	４件	KPI	4件	4件	4件	4件	4件
		実績	5件	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	日置市商工会と連携し、創業者の掘り起こしのために、創業を考えている方や創業に興味を持っている方などを対象に「創業セミナー」を開催。また、創業を本格的に考えている方や創業初期の方を対象に具体的な創業のための知識の習得を目的とした「創業塾」を開催した。【参加人数等の結果については上記のとおり。】						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和２年度においては、３項目全てのＫＰＩに対して実績が100%以上となった。	今後も関係機関と連携を図りながら、創業希望者のニーズ等を踏まえた支援を行う必要がある。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果や費用対効果の向上に努めつつ継続実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%

B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	②新規創業者スタートアップ支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市の地域活性化と産業振興を図るため、市内で創業する者に対して創業に要する経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
新規創業者スタートアップ支援事業費補助金（創業に要する経費の一部を支援）	予算額	2,500,000 最終予算額	2,500,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	2,009,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標					
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）					
重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
受講者のうち創業又は事業拡大につながった数	４件	KPI	4件	4件	4件	4件	4件
		実績	5件	－	－	－	－
	評価（A～D）		A	－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	令和２年度新規創業者スタートアップ支援事業費補助金については、７つの事業者が活用し、市内で創業した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和２年度においては、ＫＰＩに対して実績が100%以上となった。	今後も関係機関と連携を図りながら、創業希望者のニーズ等を踏まえた支援を行う必要がある。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果を維持して継続して実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	③工場等立地促進補助 （企業安定雇用創出補助金を含む）	担当課名	企画課
事業内容	市内に工場等を新設、増設又は移転する場合（一定の要件あり）に一定額の補助を行い企業等の規模拡大を支援します。 （企業安定雇用創出補助金：雇用に重点を置き、新増移設の企業が地元で新規雇用を行う場合（一定要件有、工場等立地促進補助との併用は不可）に補助金を交付します。）		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２ （1年目）	Ｒ３ （2年目）	Ｒ４ （3年目）	Ｒ５ （4年目）	Ｒ６ （最終年）
①株式会社ユー・エム・アイの増設操業（R2.4.1）15,000,000円 ②株式会社省力化技研の増設操業（H31.4.15）14,671,000円	予算額	29,671,000 最終予算額	0 当初予算額	―	―	―
	執行額	29,671,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 （H28活動調査）	⇒	17,540人 （R6）		
重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２ （1年目）	Ｒ３ （2年目）	Ｒ４ （3年目）	Ｒ５ （4年目）	Ｒ６ （最終年）
企業誘致・増設件数 （立地協定件数）	１件/年	KPI	1件	1件	1件	1件	1件
		実績	0件	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
補助金交付企業に係る新規雇用者数	５人/年	KPI	5人	5人	5人	5人	5人
		実績	10人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI		―	―	―	―
		実績		―	―	―	―
	評価（A～D）			―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	徳重工業団地（パナソニック跡地分譲地）における購入申込のあった３企業との商談を進めたが、新型コロナウィルス感染拡大による要因から、新たな企業立地につなげることができなかった。 新規雇用者数　①株式会社ユー・エム・アイ　５人 ②株式会社省力化技研の増設操業　５人						

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	企業が新・増・移設するには様々な環境（適した地理、人材雇用、補助金等）が整い初めて実行される。そのため関係機関と連携を図りながら関係企業との情報共有を行い、ニーズ等を踏まえ継続的に支援を行う必要がある。	トップセールスも含めた本社訪問等を実施し、また、企業撤退後の跡地活用のサポートを行う。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

今後も引き続き誘致促進に努め、新たな企業立地及び市内企業の事業拡大（増築）につなげるための企業支援を行い、新卒者を含めた新規雇用の拡大につなげていきたい。
※　徳重工業団地（パナソニック系列工場跡地）　Ｒ３立地協定：丸山物産（米穀精米・販売）、タバタ（牛舎建築）、コタベ（卸売業（化学薬品等））

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	④合同企業説明会の開催	担当課名	企画課
事業内容	市内に工場等を新設、増設又は移転する場合（一定の要件あり）に一定額の補助を行い企業等の規模拡大を支援します。 （企業安定雇用創出補助金：雇用に重点を置き、新増移設の企業が地元で新規雇用を行う場合（一定要件有、工場等立地促進補助との併用は不可）に補助金を交付します。）		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
送迎用バスリース代37,114円、会場設営リース料214,500円、連携中枢都市圏合同企業説明会業務委託料307,300円	予算額	695,000 最終予算額	1,231,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	558,914	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
市内高校新卒全就職者に占める日置市内への就職者の割合（３ヶ年平均）	9.76%	KPI	10.00%	10.30%	10.50%	10.80%	11.00%
		実績	8.20%	－	－	－	－
	評価（A～D）		C	－	－	－	－
※参考　説明会参加の高校生がアンケートで「参考になった」と回答した割合	90.2%（H30）	KPI	－	－	－	－	－
		実績	93.80%	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

・令和２年６月30日「企業の魅力説明会」　高校就職指導担当者16人参加
・令和３年１月11日「連携中枢都市圏合同企業説明会」　日置市８社参加
・令和３年１月26日～27日「日置市異業種交流懇話会と吹上高校生との交流会」企業11社参加
・令和３年２月22日「しごと発見！高校生のための合同企業セミナー」高校２年生及び保護者 224人参加

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	企業にとって人材雇用の確保が困難になっており外国人の雇用も増えている。地元雇用を定着させる上からも中学校・高校との情報共有が重要となってくる。	高校生に地元企業を意識付けしてもらうために何が不足しているのか検証を行い、両者の積極的な交流を図る必要がある。また、中学生のうちから地元企業を知ってもらうきっかけづくりとして、中学校で実施している職場体験企業として教育委員会へ日置市異業種交流懇話会の企業名簿を提供した。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

かごしま連携中枢都市圏及び地元企業と連携しながら、企業セミナー、企業面談会及び企業見学会等の機会を継続的に実施していく。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑤農林水産業の後継者、新規就業者及び担い手農家への支援	担当課名	農林水産課
事業内容	農林水産業の後継者や新たに就業する者に対して、技術の習得から就業後の定着までの期間（後継者１年・新規就業者2年）、生活費や所得の支援（一定額）を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
新規就業者：単身(12万円×6月×1組)+(家賃1.24万円×6月×1組)+(家賃1.5万円×6月×2組)+((家賃1.5万円×12月×1組)=1,154,400円 農業次世代人材投資事業：夫婦　２組　2,250,000円 単身　13組　19,438,290円	予算額	22,842,690 最終予算額	21,075,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	22,842,690	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				

重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
農林漁業の後継者、新規就業者数	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	10人
		実績	3人	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
農林水産業就労相談会等の参加回数	２回/年	KPI	2回	2回	2回	2回	2回
		実績	13回	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI		―	―	―	―
		実績		―	―	―	―
	評価（A～D）			―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

新たに農業経営を開始された方は、ソリダゴを主体とした２名が日吉・吹上地域で、水稲･甘しょを主体とした１名が日吉地域で就農されており、産地規模の拡大及び地域に根差した担い手として期待される。
また、就農相談会は１回のみの参加となったが、雇用環境の変化により帰鹿を希望する方等から個別の相談が増えており、今後の就業者の増加が期待される。

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
雇用情勢によって就業希望者の増減があるため、安定した後継者・新規就業者の確保が不透明。	支援策等の情報発信に努めるとともに、関係機関・団体と連携を図り、就業に向けた支援を継続する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑥新規作物の開拓支援	担当課名	農林水産課
事業内容	１次産業の活性化や後継者、新規就農者の生産意欲の向上等を目的として、地域に適した新規作物の生産及び拡大を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
薬草日置栽培部会運営補助	予算額	100,000 最終予算額	90,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	100,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
薬草作物の農家数	７人	KPI	3人	3人	3人	2人	2人
		実績	4人	－	－	－	－
	評価（A～D）		A	－	－	－	－

当該年度の取組内容と事業効果
※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

薬草日置栽培部会では、部会員がリーダーとして、新規会員をサポートしながら栽培を行うため、新規就農者等も参入しやすい環境づくりを行っている。その成果もあり、農家数の増加の目標値を達成できた。
栽培面積：1.9ha（R2実績）
→令和４年度目標部会経営面積：4.5ha
農家戸数：11戸（うち新規就農者1名）
→令和４年度目標戸数：18戸（うち新規就農者2名）

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
省力化技術の導入により栽培技術の向上が図られ、担い手の栽培可能な面積は増加した。これまでは、複合経営では、30aが限界であったが、近年では、1ha程度は栽培可能な状況となっている。 しかしながら、選別作業は手作業であり、多大な労働時間を要することから、規模拡大と新規耕作者の増加を妨げる大きな要因となっている。	選別作業の簡素化が必要とされる。作業内容は以下のとおり 種収穫時に摘採機で借り落としたミシマサイコをビニールハウスで脱穀し、選別作業を実施する。 作業時間：刈取り作業4時間/10a 脱穀作業20時間/10a 選別作業80時間/10a（1名あたりの作業時間） 根収穫 播種から２年間で収穫できる根を甘藷掘り取りアタッチメントを装着したトラクターで掘起し後にコンテナへつめ、洗浄機での洗浄を行い、乾燥後に出荷規格に基づいた出荷調整の実施。 作業時間：収穫作業16時間/10a 洗浄8時間/10a 調整12時間/10a 以上の作業時間を軽減することが、ミシマサイコの面積拡大、産地づくりにつながる。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

作業と栽培体系の確立されたものの、今後次の課題である選別作業の簡素化を行う必要がある。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑦農業ＩｏＴの活用	担当課名	農林水産課
事業内容	農業IoTを活用し、篤農家の栽培技術を共有し、新規就農者の確保と生産性の向上を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
―	予算額	― 最終予算額	― 当初予算額	―	―	―
	執行額	―	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）		17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				
重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
いちご若手農家の収量（単収）をいちご部会全体平均まで向上	3,100kg	KPI	3,100kg	3,150kg	3,200kg	3,250kg	3,300kg
		実績	3,757kg	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
いちご部会全体の単収を５％アップ	209百万円	KPI	―	220百万円	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
いちご部会全体の販売高15%増	209百万円	KPI	―	―	241百万円	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	e-kakashiの分析レポートを活用したワークショップをソフトバンク㈱と１回開催するとともに、いちご研究会に環境制御技術研修会を開催し、炭酸ガスの有効活用による年内収量の増加及び厳寒期の生育促進に努めた（収量実績はR3年9月ごろ集約予定）						

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	e-kakashiでのモニタリングは管理の現状が見える化されたことで生産者の管理に変化が現れてきつつあるが、システム上での管理までは行えていない。	コストを抑えた環境制御装置の導入による環境制御による効果の最大化を目指す。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

部会員への環境制御の定義と制御技術のポイントについて、理解促進に努めるとともに、環境制御を実践された優良事例の収集と技術の周知による単収の高位平準化を図る。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（林業）	担当課名	農林水産課
事業内容	国道３号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道２路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
林道矢筈線全体計画作成業務委託	予算額	4,620,000 最終予算額	87,000,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	4,620,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
林業の素材生産量	16,500㎥	KPI	16,600㎥	16,700㎥	16,800㎥	16,900㎥	17,000㎥
		実績	11,256㎥	－	－	－	－
	評価（A～D）		D	－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

森林の適正な整備及び保全のため、令和３年度以降の林道矢筈線開設に向け全体計画作成（調査延長Ｌ＝1550m）を行った。

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
平成25年からの5年間で林業就業者が20%程度減少してきている。また高性能林道機械が入らず搬出の際に迂回する現状にあるため、木材搬出が非効化しており早急な整備が求められている。	林道整備により高性能林道機械等を使用した効率的かつ低コストな施業により林業・木材産業の生産活動の向上を図る。また、国道・県道と繋がる市道との一体化により、観光資源がネットワーク化され観光客数の増加や住民の利便性の向上を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

整備に向け計画的に進めている。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑨商品開発支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	日置市らしい商品の開発により、ひおきブランドを確立し、地域活性化及び産業の振興を図るため、本市の特色を生かした商品の開発を行う事業者に対し、その商品開発等に係る経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
商品開発支援事業費補助金（商品開発等に係る経費の一部を支援）	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	283,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）		17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				
重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
新商品開発件数（商品開発支援事業費補助金活用件数）	2件/年	KPI	2件	2件	2件	2件	2件
		実績	2件	－	－	－	－
	評価（A～D）		A	－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－
		KPI		－	－	－	－
		実績		－	－	－	－
	評価（A～D）			－	－	－	－
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	令和２年度商品開発支援事業費補助金については、２つの事業者が活用し、本市の特色を生かした商品開発を行った。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和２年度においては、ＫＰＩに対して実績が100%以上となった。 令和２年度は補助事業を活用した事業者数が過去と比較し減少しため、活用促進が課題としてあげられる。	多くの事業者が本補助金を活用し、新商品開発による販路拡大や売上向上等につながる取組の一助となるよう、関係機関とも協力し事業の周知を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果を維持して継続して実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%

B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑩薩摩國広域輸出促進事業	担当課名	商工観光課
事業内容	輸出機運と商機会の造成を推進するため、自主的なターゲット国でのフェアをはじめ、商談会や輸出セミナーを開催するとともに、県貿易協会等と連携した地域産品のプロモーション事業を行うことで、物流構築の強化と観光資源のPRを一体的に展開します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
薩摩國広域輸出促進協議会負担金	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	500,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
薩摩國広域輸出促進事業に係る商談数（Ｒ４まで）	2件/年	KPI	2件	2件	2件	―	―
		実績	8件	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
薩摩國広域輸出促進事業に係る成約数（Ｒ４まで）	1件/年	KPI	1件	1件	1件	―	―
		実績	4件	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
※参考　薩摩國広域輸出促進事業に係る仙台港食品輸出取扱い金額	814,073千円（H30）	KPI	819,073千円	824,073千円	829,073千円	―	―
		実績	466,037千円	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
※参考　薩摩國広域輸出促進事業に係る売上金額（フェア）	0円	KPI	200,000円	200,000円	200,000円	―	―
		実績	543,675円	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	薩摩川内市及び阿久根市、本市の３市で薩摩國広域輸出促進協議会を設立し、事業開始。今年度は、本市で貿易への機運等を高めるため、事業者向けの「貿易促進セミナー」を開催。また、台湾国で展開する百貨店及び富裕層向けのスーパーで物産展を開催した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	新型コロナウイルス感染症の影響により、県と連携し行う予定だった「うんまか鹿児島輸出商談会」が中止となり、またJETROのJAPANMALL事業を活用した事業を行うことができなかった。	新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、ターゲット国の検討も行い、事業者とも連携した上で、現況を踏まえた、輸出促進に向けた事業を展開する必要がある。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

ターゲット国としては、日本産農林水産物の主力輸出先である第１位の香港、第２位の中国、第４位の台湾などＡＳＥＡＮ地域の中心となる国を重視。そのターゲット国への海外輸出プロモーション事業や、ジェトロ鹿児島・鹿児島県等と連携及び協力した事業を展開予定。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事 業 名	⑪オリーブ産業プロジェクト	担当課名	農林水産課
事業内容	新たな産業創出として始まったオリーブを生産・加工・流通までの６次産業化の更なる体制を構築させることで、担い手農家のための基幹作物の位置付けをはじめ、新商品開発やイベントを通じた消費喚起による地域経済の活性化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
試験圃場の管理、部会運営補助、小豆島からの講師謝金	予算額	3,889 最終予算額	4,772 当初予算額	―	―	―
	執行額	3,540	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市内事業者従事者数（経済センサス）	17,060人（H28活動調査） ⇒ 17,540人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
オリーブの植栽本数	650本	KPI	720本	790本	860本	930本	1,000本
		実績	362本	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
オリーブの収穫量	4,020kg	KPI	5,832kg	7,644kg	9,456kg	11,268kg	13,080kg
		実績	499kg	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
オリーブ栽培農家数	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	10人
		実績	11人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

令和２年度は、満開時の降雨、収穫前の台風襲来の影響を大きく受け、収穫量が499kgとなった。オイルの搾油については、従来より熟度を増した実を収穫したことにより、搾油率が2.66%から4.38%と向上した。
植栽拡大に向けオリーブの挿木を約4,700本し、2,054本の鉢上げが出来た。

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
収穫は、天候等の影響を受けやすいため、台風対策等及び適期管理作業の周知 新規栽培農家の推進及び既存農家の増植推進が課題である。	薬剤散布（葉面散布等）による発芽・発育・着果の促進を図るため、試験圃場及び部会員圃場で試験を実施する。 適期管理が重要であるため、適期管理作業の通知や定期的に巡回し、個別指導を行う。 新規栽培希望者向けに説明会を実施する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

・各時期ごとの管理作業の周知及び発芽・発育・着果促進を図るため、葉面散布等による試験及び技術の確立。
・栽培農家以外への情報発信
・新規栽培者の増に向けての説明会の開催。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑫母子保健事業（不妊治療関係事業）	担当課名	健康保険課
事業内容	・安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進するとともに、不妊に悩む夫婦の精神的負担及び経済的負担の軽減を図るため、不妊治療の助成を行います。 ・産後の体調や育児に不安のある母子を対象に、心身のケアや子育て環境を整えるノウハウなどの支援を受けられるよう助産所等の入所費用の一部助成を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
【母子保健事業】 ・特定不妊、一般不妊治療助成事業 ・産後ケア事業（宿泊・日帰り・訪問）	予算額	6,982,000 最終予算額	8,100,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	5,362,340	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62（H29） ⇒ 1.68（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
※　参考　母子保健事業での不妊治療件数	68件（H30）	KPI	－	－	－	－	－
		実績	68人	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
※　参考　母子保健事業利用者の妊娠率	44.1%（H30）	KPI	－	－	－	－	－
		実績	44.9%	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
※　参考　母子保健事業の出産率	30.9%（H30）	KPI	－	－	－	－	－
		実績	22.1%	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
当該年度の取組内容と事業効果 ※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	【母子保健事業】 妊娠率：妊娠に至った数31件/（一般不妊治療40件実人数+特定不妊治療29件実人数）＝44.9%						

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	不妊治療は早い段階からの治療が有効であるが、治療開始が遅い傾向にある。 産後ケアを必要と思われるケースが増加しているが、利用率が低い。	不妊治療助成事業の啓発とともに、不妊について正しい知識の普及、相談体制の整備を行う。産後ケア事業については、さらなる事業の普及啓発等、多くの方が利用できるよう推進する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

令和４年度から特定不妊治療等が保険診療対応となる方向性であるが、まだ不透明な部分もあり経済的負担も大きいため、制度の普及啓発を広く行い、早い段階から治療に取り組めるよう今後も事業を継続する。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑬マタニティボックス配布事業	担当課名	健康保険課
事業内容	赤ちゃんの誕生を祝い、今後の健やかな成長を願うことを目的として、地元企業と連携し赤ちゃんグッズ等が入ったマタニティボックスを配布することで子育てしやすいまちづくりを目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
赤ちゃんが生まれた世帯に、子育てに必要な実用品等を詰め合わせた「マタニティボックスひおきコウノトリ便」を配布	予算額	7,000,000 最終予算額	7,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	7,000,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62（H29） ⇒ 1.68（R6）

重要業績評価指標状況（ＫＰＩ）

KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
子育て世代（25～39歳）の人数（住民基本台帳）	6,233人	KPI	6,046人	5,865人	5,689人	5,518人	5,352人
		実績	6,019人	―	―	―	―
	評価（A～D）		B	―	―	―	―
マタニティボックスの満足度（満足・やや満足と回答された方の割合）	90.00%	KPI	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
		実績	A	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

出生届出時に受け取り方法を確認し、全数手渡し、受け取られた方の反応を確認する機会となった。後日アンケートを配布・回収し、「満足」「やや満足」とした方は９６％であった。市や企業からお祝いされていると感じた、他市にない事業で日置市でよかったとの意見を多くいただいた。

取組の検証

事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
アンケートを実施し市民ニーズを把握しながら、満足の高い内容について検討していきたい。企業からの寄付によって賄っているため、寄付状況等に左右されることが課題。事業評価指標の設定が難しい。	市民ニーズに応じた内容の検討。アンケート内容の検討。事業のPRを行い、寄付等に多くつなげられるような機会を設ける。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

他市にない取り組みであり、市民の満足度も高く、市内企業との連携を図りながら今後も事業を継続する。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑭子ども医療費の助成	担当課名	福祉課
事業内容	経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成を「中学卒業まで」引き続き実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
保険料診療に係る一部負担金の助成	予算額	127,700,000 最終予算額	144,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	127,769,361	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62 (H29) ⇒ 1.68 (R6)				
重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
	KPI	―	―	―	―	―
	実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）	―	―	―	―	―
	KPI	―	―	―	―	―
	実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）	―	―	―	―	―
	KPI	―	―	―	―	―
	実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）	―	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	３月末（実績見込）22,426件　127,769,361円					

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	他の制度（ひとり親家庭医療費助成制度、重度心身障がい者医療費助成制度、災害共済給付制度、健康保険組合等）との重複防止策を講じる。	関係課及び関係機関との連携。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑮ひおきふるさと教育の推進	担当課名	学校教育課
事業内容	本市の伝統文化、人物、自然や産業といった魅力ある素材を学習内容とした授業を展開し、児童生徒がふるさとに対する理解を深め、その学習活動を通して、「礼節」、「郷土愛」、「自然愛」、「奉仕」といった道徳性を身につけられるよう風格ある教育を推進します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
印刷製本・補助金	予算額	2,524,000 最終予算額	2,991,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	1,923,220	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62（H29） ⇒ 1.68（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
子どもが地域の行事に参加した割合（全国学力・学習状況調査）小学生	県平均 72.7%	KPI	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
子どもが地域の行事に参加した割合（全国学力・学習状況調査）中学生	県平均 54.2%	KPI	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
「ひおき学」に係る市民への周知（情報発信）	２回/年	KPI	２回	２回	２回	２回	２回
		実績	２回	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	「ひおき学」「環境」等の学習ブックを配布し、各学校で指導を行った。また、「わが町ひおき検定」を行い、全校（22校）で1463人（前年度-98）の児童生徒が取り組んだ。なお、小中一貫教育に係る学校間兼務は、84件（前年-２件）だった。さらに、吹上中校区・東市来中校区・土橋中校区のそれぞれの校区において、合計230人の学校関係者に研究の成果を披露した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	コロナウイルス蔓延防止を優先させたため、小中の授業交流の充実を図ることができなかった。	今後は、コロナ禍にあっても小・中連携を図ることができるよう、モデル事業や職員研修の充実を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

- 日吉学園における「小・中一貫教育」を充実させ、学力向上の研究指定（R3～R4）を行い、日置市のモデル校とする。
- 職員研修の充実を図るために、先進校の外部人材を講師として招聘する。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑯子ども支援センターの充実	担当課名	学校教育課
事業内容	・臨床心理士の配置等により子どもたちやその保護者に対するきめ細かい相談支援体制の強化を図ります。 ・各種相談機関との連携をはじめ、総合的な相談支援の充実と強化に取り組みます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
子ども支援センター事業費 ふれあい教室事業費	予算額	14,724,000 最終予算額	10,103,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	14,316,890	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	合計特殊出生率（５年平均）		1.62（H29） ⇒ 1.68（R6）				
重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
子ども支援センター支援者に対する研修会の開催数	－	KPI	1回	1回	1回	1回	1回
		実績	1回	－		－	－
	評価（A～D）		A	－	－	－	－
子ども支援センターの相談に対する改善割合	80.00%	KPI	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%
		実績	79.66%	－	－	－	－
	評価（A～D）		B	－	－	－	－
		KPI	－		－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	・指導者研修会等は，コロナ禍により例年より回数や参加者数も減らして，１回（12/3）実施した。（参加者３８人）教育相談員による巡回訪問（４２５回），ＳＳＷによる学校訪問（５９８回），臨床心理士によるカウンセリング及び担任・相談員等とのコンサルテーション（２９２回）等を行い，児童生徒や保護者等からの各種相談へのきめ細かな対応に努めてきた。令和２年度は，年間相談者実数（２９５人）相談延べ回数（６２０４回）だった。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	・子ども支援センターへの相談は年々増加し，その内容もメンタル面や発達障害，不登校や家庭環境，虐待相談等，各々が抱える問題が複合的で困難なものも多い。支援策を関係課や機関等で連携・協議して多方面から支援することが不可欠になっている。	・養護相談や障害相談，不登校等，改善に相当の時間が必要な相談は，臨床心理士や保健師等による専門的なアドバイスを行ったり，関係各課や公的機関等と連携して行政的援助を行ったりする。また，専門機関へつないだり病院受診もしていけるよう一層努めていきたい。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

・子ども支援センターの総合相談窓口（ワンストップ）としての機能を一層高めたい。また，緊急性の高い事案や複合的な問題を抱える事案へ迅速的確に対応するため，各機関や関係各課との連携強化に努めたい。そのため，臨床心理士等専門職の活用，サポート会議・ケース会議等を開催し，情報共有・支援方針の相互確認に一層努めたい。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑰過疎地域移住定住促進事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市外から定住を目的に本市に転入し、補助対象地区に移住した場合、一定要件を満たす方に対して助成し、加えて子育て世帯や地元業者による新築等で移住した場合には助成金上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
コロナ対策による９月補正減額を実施。令和3年度予算編成方針に基づき、来年度より補助単価の減額を実施。	予算額	20,000,000 最終予算額	12,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	16,300,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標					
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62 (H29) ⇒ 1.68 (R6)					
重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
過疎地域移住定住促進事業利用者のうち移住者数	63人/年	KPI	74人	74人	74人	74人	74人
		実績	87人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	令和２年度は、コロナの影響もあり、年度前半の当該事業の利用は低調であったが、来年度から補助単価を減額することもあり、年度末の駆け込みが多かった。コロナ禍の影響による地方移住の動きは確実に進むと考えており、空き家バンクも含め、問い合わせは増えている。来年度の利用はもっと増えるものと考える。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	来年度より、補助単価を減額する。令和３年１月末より告知。減額に伴い、活用が減少するという想定はしていない。	令和３年１月末に告知。経過措置として、令和３年３月までの契約分（工事請負契約・売買契約）は対象にするとしている。令和３年度に利用が集中すると考えられる。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

補助単価の見直しを行います。基本額を90万円⇒40万円、60万円⇒30万円、40万円⇒20万円に減額。
※いちき串木野市は令和２年度より廃止。鹿児島市は無し。姶良市は、限界集落のみ対象。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事 業 名	⑱空き家改修補助事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市内の空き家等を居住又は簡易宿所として活用する場合、改修・リフォーム費用等の補助を行い、加えて地元業者による施工の場合は、補助上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
コロナ対策による９月補正減額を実施。令和3年度予算編成方針に基づき、来年度より補助単価の減額を実施。	予算額	7,000,000 最終予算額	10,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	4,267,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	合計特殊出生率（５年平均）	1.62（H29） ⇒ 1.68（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
空き家改修補助事業利用者のうち移住者数	６人/年	KPI	6人	6人	6人	6人	6人
		実績	10人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
空き家改修事業のうち補助件数	９件/年	KPI	9件	9件	9件	9件	9件
		実績	16件	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

令和２年度は、コロナの影響もあり、年度前半の当該事業の利用は低調であったが、来年度から補助単価を減額することもあり、年度末の駆け込みが多かった。コロナ禍の影響による地方移住の動きは確実に進むと考えており、空き家バンクも含め、問い合わせは増えている。来年度の利用はもっと増えるものと考える。令和２年度計画承認数は34件（今年度申請16件）

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
来年度より、補助単価の減額及び補助率の変更を実施。令和３年１月末より告知。本変更に伴い、活用が減少するという想定はしていない。	令和３年１月末に告知。経過措置として、令和３年３月までの承認分は旧補助単価を適用するとしている。令和３年度に利用が集中すると考えられる。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

特段の変更は必要ないと考える。ただし、年々利用が伸びてくると考えられるため、予算確保をどのように進めるか市として検証する必要があると考える。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事 業 名	⑲バスツアーの充実	担当課名	商工観光課
事業内容	バスツアーを通じて本市の隠れた観光名所や古民家、季節ごとに楽しむことができる魅力等、多くの人に本市の良さを認知してもらい、交流人口の増加と口コミによる拡散を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
観光関係者向けのモニタツアーの実施（１回）	予算額	100,000 最終予算額	1,050,000 予算額	－	－	－
	執行額	100,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	観光地・観光施設年間来訪者数	231万人（R1） ⇒ 250万人（R6）				

重要業績評価指標状況（ＫＰＩ） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
域外からのバスツアー受入れ人数（市観光協会、ガイド協会の受入れ人数）	1,745人/年	KPI	1,756人	1,767人	1,778人	1,789人	1,800人
		実績	1,589人	－	－	－	－
	評価（A～D）		B	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

新型コロナウィルス感染症拡大のため、一般向けのツアーは中止し、旅行関係者を招聘した観光素材をＰＲするツアーに変更。（県観光連盟、県観光課、県内ホテル、雑誌記者等を招聘）
参加者　22名（参加団体　13団体）

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	団体旅行から個人旅行へのシフトに加え、新型コロナウィルス感染症の影響によりツアー実施が困難であった。再開までには一定期間要すると思われるため、個人周遊を促進するための取り組みが必要。	コロナ禍におけるマイクロツーリズムへの高まりから、近場で楽しめる場所をより多く提供するため、体験メニューの磨き上げと新規開拓を含めた情報の一元化とプロモーションの強化を図るための事業を令和３年度で実施する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

コロナ禍におけるマイクロツーリズムへの高まりから、近場で楽しめる場所をより多く提供するため、体験メニューの磨き上げと新規開拓を含めた情報の一元化とプロモーションの強化を図り、多角的な誘客促進に努めながら、少人数旅行への対応を強化する。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事 業 名	⑳スポーツ合宿の助成	担当課名	商工観光課
事業内容	スポーツ及び文化等の団体が市内の宿泊施設を利用し、合宿等を行う場合に宿泊費用の一部を助成します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
合宿を誘致し活性化に資するため、合宿等を行った団体に対して補助を行う。	予算額	4,349,000 最終予算額	8,466,000 当初予算額	－	－	－
	執行額	3,448,000	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	観光地・観光施設年間来訪者数	231万人（R1） ⇒ 250万人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
スポーツ合宿数（補助金利用延べ人数）	8,350人/年	KPI	8,400人	8,450人	8,500人	8,550人	8,600人
		実績	3,448人	－	－	－	－
	評価（A～D）		D	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	・スポーツ・文化合宿誘致事業 54団体 3,448人 3,448千円を交付 （参考：令和元年度実績 152団体 9,058人 8,466千円を交付）						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	長引く新型コロナウィルス感染症の影響により合宿や大会等の中止・キャンセルが相次ぐ状況となり、制度利用団体が減少している。	新型コロナウィルス感染症の影響や国体の延期に伴い制度の延長を実施（令和3年3月末→令和6年3月末） 宿泊事業者支援のための制度（ひおき時間を楽しもうキャンペーン）との併用を可能として利用促進を図った。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

長引く新型コロナウィルス感染症の影響で今後の見通しは厳しい状況であるが、徐々に大会等が再開されてきており、地域コミッション団体等とも連携した誘客回復への営業強化を図り、利用促進に努める。
なお、ひおき時間を楽しもうキャンペーンも延長することから、長期的な支援による利用回復に努める。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事 業 名	㉑観光ＰＲ武将隊プロジェクト	担当課名	商工観光課
事業内容	戦国島津ゆかりの地である本市を武将のまちとしてイメージ戦略を図り、様々なイベント・行事等で甲冑姿の武将隊が観光プロモーションを行うことで、武将として体験できるまちづくりを目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
コロナ禍において事業内容を見直し、情報発信ツールの拡充を図る。公用封筒作成やパンフレット等を作成。	予算額	10,064,000 最終予算額	13,040,000 予算額	－	－	－
	執行額	9,793,960	－	－	－	－

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	観光地・観光施設年間来訪者数	231万人（R1） ⇒ 250万人（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
プロジェクト専用SNSフォロワー数（Facebook, Instagram, Twitter）	420人/年	KPI	420人	450人	500人	500人	500人
		実績	1,052人	－	－	－	－
	評価（A～D）		A	－	－	－	－
甲冑体験活動拠点への来訪者数	1,080人/年	KPI	1,080人	1,100人	1,200人	1,300人	1,300人
		実績	546人	－	－	－	－
	評価（A～D）		D	－	－	－	－
		KPI	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
	評価（A～D）		－	－	－	－	－

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

情報発信ツールの拡充
・パンフレットリニューアル　30,000部
・戦国島津ゆかりの地リーフレット　30,000部
・武将隊プリントの公用封筒作成（角２－1,000部、長３－30,000部）
・プロモーション活動等（聖地巡礼企画等）

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
コロナ禍において、外出自粛の傾向や対外的なプロモーションの機会が激減。事業内容を見直し、情報発信ツールの充実を図った。また、体験施設への人材確保が難航し、オープン時期が遅れるなどの影響があったものの、早期段階でのモニター実施等による課題把握に資する事業を実施できた。	現時点のフェーズをしっかりと把握しつつ、令和３年度に向け、モニターツアー等のアンケート結果を踏まえた対策を講じる準備を行う。認知度が低いため、有料広告を活用したキャンペーンを計画し、誘客促進を図っている。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

現時点での認知度が低いため、継続的なプロモーションを強化しながら、有料広告等も活用した誘客促進に努めるとともに、実証事業で得た結果をもとに来訪者満足度が高まるコンテンツ造成を目指す。財源調達の状況等も考慮しながら、フレキシブルに事業内容を見直しつつ、今できる最大限の事業を展開できるよう対応する。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事 業 名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（市道）	担当課名	建設課
事業内容	国道３号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道２路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
令和2年度において、市道16路線の設計及び工事、用地取得等の業務を執行した。	予算額	590,000,000 最終予算額	561,000,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	95,742,750	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	観光地・観光施設年間来訪者数		231万人（R1） ⇒ 250万人（R6）				
重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
（再掲）観光地・観光施設年間来訪者数	231万人（R1）	KPI	244万人	246万人	247万人	249万人	250万人
		実績	205万人	―	―	―	―
	評価（A～D）		C	―	―	―	―
（再掲）過疎地域移住定住促進事業利用者のうち移住者数	63人/年	KPI	74人	74人	74人	74人	74人
		実績	87人	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI		―	―	―	―
		実績		―	―	―	―
	評価（A～D）			―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	令和2年度において、国道3号及び270号を中心に、観光周遊ルートやアクセス道の道路拡幅等の整備を進めた。その結果、移住・定住者が増えた一方で、豪雨及び新型コロナウィルス等の影響により、観光入込客数は減少している。 R2計画修繕路線：12路線（伊集院地域の中川いちご農園周辺道、吹上人工芝サッカー場周辺道等の整備）						

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	当該計画において、美山インターチェンジのフル化を計画しているが、新型コロナウィルス等の影響による市の財政状況を鑑み、着手延期を見込んでいる。	工種を道路改良から舗装修繕へ計画を見直し、老朽化した観光周遊ルートやアクセス道の整備を実施と対象路線の増により、事業促進を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

計画変更にあたり、計画の作成主体である県と協議及び、必要に応じて内閣府協議を必要と考えられる。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%

B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事 業 名	㉒ひおきの民創出プロジェクト	担当課名	地域づくり課
事業内容	本市の歴史・文化・自然・伝統等に魅了されたファンをさらに創出するため、ふるさと納税返礼品に体験型商品を取り入れたり、空き家のお試し居住等を展開することで、関係人口の拡大と深化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
令和２年度、国の関係人口創出モデル事業は不採択。コロナ禍での事業立上げはせず、令和３年度開始を目指す。	予算額	0 最終予算額	0 当初予算額	―	―	―
	執行額	0	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	観光地・観光施設年間来訪者数	231万人（R1） ⇒ 250万人（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
ひおきの民登録者数	100人/年	KPI	50人	100人	100人	100人	100人
		実績	0人	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
お試し居住利用日数	100人/年	KPI	50人	100人	100人	100人	100人
		実績	0人	―	―	―	―
	評価（A～D）		D	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	令和３年度創設を目指し、鹿児島県市町村振興協会の助成事業に申請し、助成金決定を受けた。本制度創設に向け、市内有志を集めて「ひおきの民創出軍議大会」を12月、２月に開催し、この会議にて制度をブラッシュアップしする。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	―	―

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

―

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%

B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事 業 名	㉓公共交通の維持・確保	担当課名	地域づくり課
事業内容	市民の移動手段を確保するため、交通不便地域での乗合タクシーやコミュニティバス事業を継続して実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
乗合タクシー運行事業（全地域）、コミュニティバス運行事業（伊集院、東市来、吹上地域）を交通事業者に委託し、地域住民の移動手段の確保を行った。	予算額	39,000,000 最終予算額	38,700,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	36,417,919	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	市民アンケート満足度（日置市の住みやすさ）	70.5%（R1） ⇒ 75.0%（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
※参考　公共交通の利用者延数	39,382人（H30）	KPI	―	―	―	―	―
		実績	26,409人	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

乗合タクシー利用者延べ数【R3】8,567人（対前年度比-605人）
コミュニティバス利用者延べ数【R3】17,842人（対前年度比-12,795人）
コロナ禍による利用控えが見られ、利用が低調となっている。

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
人口減少に伴い、公共交通利用者の減少も進んでいるが、高齢化に伴う運転免許証自主返納者の増加など、移動手段の確保が必要な方々への対応は重要な政策のため、持続可能な公共交通の構築を図る。	令和３年度は、日置市公共交通網形成計画の最終年度で、次期計画である公共交通マスタープランの作成の年である。地域に適した公共交通体系の構築を目指しつつ、公共交通の認知度向上を図るため、総合的な時刻表を作成するなど利用促進を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

公共交通マスタープラン策定については、今後の国の補助事業の要件ともなる。市民・利用者のニーズ把握と委託事業者等の状況把握もきめ細かく実施することとし、公共交通会議にて議論を重ねることとする。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事 業 名	㉔自主防災組織の充実・強化	担当課名	総務課
事業内容	地域の防災力を充実・強化するため、防災知識の普及啓発など自主防災組織に対する支援を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
各自主防災組織への補助金の交付	予算額	2,650,000 最終予算額	5,650,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	2,617,000	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	市民アンケート満足度（日置市の住みやすさ）	70.5%（R1） ⇒ 75.0%（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		R２（1年目）	R３（2年目）	R４（3年目）	R５（4年目）	R６（最終年）
自主防災組織加入率（２%アップ）	87.9%（H30）	KPI	86.10%	91.00%	94.00%	96.00%	98.00%
		実績	88.00%	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

H27.4.1 組織数128 加入率77.6%　H30.4.1 組織率148 加入率87.9%
H28.4.1 組織数135 加入率83.3%　H31.4.1 組織率148 加入率87.9%
H29.4.1 組織数145 加入率85.5%　R２.4.1 組織率149 加入率88.0%

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
コロナ禍により、文書での組織結成の依頼のみになり十分な活動ができなかった。	新たに、令和３年度から特定の活動をした際や届出避難所を開設した際にも補助金を交付できるよう要件を定め、自主防災組織の活動をさらに幅広く支援していく。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

防災士に協力を依頼し、自主防災組織の重要性について、周知・啓発し、また、防災訓練等の組織活動の支援を行う。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事 業 名	㉕生ごみ回収事業	担当課名	市民生活課
事業内容	家庭などから排出される生ごみを回収し、堆肥化することで、環境にやさしい循環型社会を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
生ごみの回収、堆肥化に伴う委託料及び報償金	予算額	67,504,000 最終予算額	70,067,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	66,790,190	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	市民アンケート満足度（日置市の住みやすさ）	70.5%（R1） ⇒ 75.0%（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
生ごみ回収対象世帯数	12,929戸（H30）	KPI	13,000戸	14,400戸	15,800戸	17,200戸	18,600戸
		実績	13,747戸	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
生ごみ回収量	1,050ｔ（H30）	KPI	1,174t	1,298t	1,442t	1,569t	1,697t
		実績	1,010t	―	―	―	―
	評価（A～D）		C	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

生ごみ回収参加者等＝135自治会、13,747世帯の参加
1,010tの生ごみを燃やすことなく再資源化し、約348tのＣＯ２排出を抑制する事ができた。
事業参加の自治会へＣＯ２排出抑制の報償金として、5,081,400円を還元した。

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※　課題の対応策を記入してください。
事業への参加世帯が市全体の61%であることから更なる拡充を図る必要がある。	廃棄物を焼却しない処理および再資源化する良さを広くアピールし参加世帯を広げていくことが重要と考える。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

４年後に控えているごみ処理施設の広域化へ向けて、搬入ごみの減量に努めることが重要課題となっている。
また、水分を多く含む生ごみは、堆肥化することで環境への負荷を減らすことが可能であり、継続していくことでその効果が見込まれる。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事 業 名	㉖地区振興計画の推進	担当課名	地域づくり課
事業内容	地区公民館が策定した地区振興計画に基づき、公共的課題の解決を地区公民館と市との協働で進めます。対象事業は、地区活力の維持・存続に係るソフト事業等で、健康づくり・地域見守り等の支援を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
26地区公民館が策定した第４期地区振興計画に基づき、地域づくり推進事業のハード事業・ソフト事業を実施する。（平成30年度～令和２年度までの３年計画により年次的に実施）	予算額	127,508,593 最終予算額	67,500,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	127,508,593	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標				
	市民アンケート満足度（日置市の住みやすさ）	70.5%（R1） ⇒ 75.0%（R6）				

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
地区別の住民の各地域に対する愛着度（地区振興計画アンケート調査）	―	KPI	―	―	―	70.0%	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※　なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

ハード事業では、各地区が計画した社会基盤の整備等を執行でき、ソフト事業では、地区住民のニーズに合わせた柔軟な仕組みづくりや地域資源を活用した事業が生まれ、地区の課題解決が推進された。（高齢者見守り：元気お知らせ旗の掲揚等　買物支援：タクシー事業所委託に併せた地区支援者の登録　健康づくり：登山道の整備に併せた登山大会の実施等）

取組の検証	事業実施における課題 ※　KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※　課題の対応策を記入してください。
	事業執行に対するハード・ソフトの割合が第３期は50%ずつであったが、第４期計画では70～30%の割合で調整可能とした。地区によってはハードに重点をおいたところもあったが、概ね50%で事業展開した地区が多かった。	ソフト事業を活用した地域の課題や資源の有効利用など、人口減少社会の中で、第5期地区振興計画では、必須事業を健康づくりと見守りの2事業とし、地区の身の丈にあった無理のない仕組みづくりを行った。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※　課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

2以上の複数の地区が地区を超えた広域的な取り組みを推進し、小規模地区において。人的環境等を相互に補完することで新たな事業の創出、または現行事業の取り組みの拡大若しくは持続、維持を図る。

※　KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：　〃　99%～90%　　D：　〃　80%未満

第２期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
（令和２年度実施分）

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事 業 名	㉗日置市女性センター銀天街の充実・強化	担当課名	企画課
事業内容	個人を尊重し、多様な個性を生かす意識の醸成を図り、幅広い年代が気軽に立ち寄れる施設を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
会計年度職員報酬等（専門員、保育士等） 1,989,612円 講座等講師謝金 148,050円 使用料及び賃借料 235,776円 施設維持負担金 203,883円 等	予算額	3,795,000 最終予算額	4,038,000 当初予算額	―	―	―
	執行額	3,256,873	―	―	―	―

基本目標における数値目標	区分	数値目標
	市民アンケート満足度（日置市の住みやすさ）	70.5%（R1） ⇒ 75.0%（R6）

重要業績評価指標状況（KPI） KPIの内容	基準値		Ｒ２（1年目）	Ｒ３（2年目）	Ｒ４（3年目）	Ｒ５（4年目）	Ｒ６（最終年）
日置市女性センター銀天街の利用者数	1,664人/年	KPI	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人
		実績	1,367人	―	―	―	―
	評価（A～D）		C	―	―	―	―
日置市女性センター銀天街による講座受講者で「再度利用したいと思う」割合（アンケート結果）	90.0%（H30）	KPI	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
		実績	100.00%	―	―	―	―
	評価（A～D）		A	―	―	―	―
		KPI	―	―	―	―	―
		実績	―	―	―	―	―
	評価（A～D）		―	―	―	―	―

当該年度の取組内容と事業効果
※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。

語り合いの場、学び合いの場、いきぬきの場として、「子育てしゃべり場」「異文化交流」「デートＤＶ防止セミナー」など、子どもから大人までを対象とした個人のセルフケアや自己肯定感を実感的に理解し高めるための様々な講座を実施した。また、日常の相談及び定例の男女共同参画専門員や助産師、保健師の在館による相談日を設定し、サービス提供者と利用者の双方の主体性と多様性を尊重した運営を実施した。（総利用者1,367人、講座,イベント数46回、講座参加者数361人）

取組の検証 事業実施における課題	課題に対する改善策
※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
施設拠点地の伊集院地域には認知されつつあり、利用につながっているが、他地域ではまだ認知度も低く、地域間の利用状況の格差がある。また、施設名称のイメージによる限定的な利用になりやすく、男女共同参画の拠点施設としての施設周知が課題である。	現在、チラシ配布、自治会文書、市HP、Facebook、チャットボット等で広報しているが、各地域での講座開催や「男女共同参画」に関する定期的な講座を開催し、施設認識につながる事業実施や周知活動に努める。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

市内外の老若男女、あらゆる状況、立場にあるすべての人々に開かれ、利用することができる施設として、継続した周知活動を行う。また、当センターを利用することで、講師や支援者として等、自分の希望する生き方を叶えていく活動や自分自身の生き方について、多様な人と緩やかにつながりを持てる場所としての提供促進を図る。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上　C：KPIに対して実績が89%～80%
B：〃 99%～90%　D：〃 80%未満